

報 告 書

開催日時	平成28年8月18日（木）19:00～20:45	
開催場所	天瀬公民館	
出席議員	（3班）飯田・森山・松野・梅原・中野	
	班 長	飯田
	司 会 者	中野
	記 録 者	梅原
参加人数	25名	
主な要望 ・ 提 言 等	○A氏 前に市長が見えた時、通院難民、買い物難民の発言をした。その際にスクールバスの空き時間についてスクールバスを利用してはどうかと聞いたら、「他の交通機関に迷惑がかかるからそれはかなり無理だろう。」と言った。先程の説明でスクールバスの空き時間利用の話があったので具体的に教えて下さい。	
	公共交通対策についての質問があり、そこで答弁がありました。福祉バスについては市が、自家用有償旅客運行の許可を取得致しまして、民間事業者に業務を委託し市内の周辺部から日田バスセンターを經由して中ノ島町の老人福祉センターまでの間を運行しているものである。現在、大鶴・堂尾・串川・尾当・高花・月出山の6路線があり、各路線について1日1往復2便を運行している。	
	スクールバスの件はいかがですか？この地区はかなり年配者が多くて運転が困難になった方がたくさんおります。運転していく人に同乗して連れていっているが、事故があった時に責任問題が生ずる。できればスクールバスを週に2回くらい路線を決めて運行ができるか、できないかお聞きしたい。	
	今、6路線の福祉バスがスクールバスを利用している。それを拡張して欲しいと言うご意見だと思うが、スクールバスは全部で31、2台あるがそのうち6路線しか使用していない。色んな条件等あると思うが、通院や買い物に使えるもっと他の方法もないのか検討すべきである。交通空白地の解消方法等やっているが具体的には中々進んでいない。これは、大きな問題であるので天瀬地区に限らず他の地区も増えているので我々も考えながら行政と進めていきたい。	
	○B氏 今話を聞くと議員は全然、旧郡部の事を考えていない。ひた走り号や今の6路線全て旧市内ばかりではないか。郡部の要求は全然呑み込ん	

でない。今のスクールバスの件は昨年も出している。どうしてあげてないのか。そして旧市内だけをそういうふうにあげたという事はどういうことかそこをはっきりしてくれ。

スクールバスを特別な形で運行しているのは、他に交通手段がない地区に条件として走らせている。通院での病院へのバスは、他の地区でも走っていない。新たな形で地区をあげて要望を上げて下さい。行政には伝えておく。

○C氏

天瀬は、温泉病院もなくなり無医村みたいになっている。高齢化されたお年寄りも、通院に3千円の経費が掛かり1週間に1回しか行けない。スクールバスがあんなに止まっているのは、もったいないではないか。一人暮らしの方が多く免許証も返納して買い物にも病院にも行けない人が多い。公共の乗り物は時間に制約され余裕がない。定期的に巡回するバスを作ってもらえないか。会合の度にこの話題は出る。市内はひた走り号があるが、一人か二人しか乗っていない。議会でも取り上げて力になって欲しい。

公共交通の空白地域の部分に関しては、カバーする形でやっていると思うが、今皆さんの意見を聞いて確かに利便性を考えるとスクールバスが使われていないというのは、色んな方から聞いている。今日頂いた意見は、議会でまとめて市に要望し議会全体でも課題として取り上げていきたい。

○D氏

中小企業支援センター事業に約2,580万円の予算がついているが、多分これは人件費だと思う。コーディネーターは、どうゆう人が何名か。この人たちは市の職員として雇用されているかどうか。それと、この人達の権限は、ないのではないか。相談に行っても今までとは変わらず、新センターを設置しているがあまり期待されないと推測されるがどうか。

商売されている方の相談は、融資関係が多い。国・県・市にどうゆう融資があるのかわからないのと書類関係が分かりにくい等。専門知識のある方でないと分からない。コーディネーターは3名で、そのうち統括1名については、中小企業診断士等の有資格者。他の2名については事業者等からの相談内容及び支援方法を統括的に管理し支援できるものである。その他事務職員1名が臨時職員。権限はわからないが的確に相談ができる方だと認識している。

農業大学校就学支援事業72万円について詳しく教えてほしい。

市内で就農する青年農業者を育成するため九州内の県立農業大学校で学ぶ学生に対して就学費用を支援するものである。対象者は、市内に住所を有する者であり卒業後市内で就農する者である。補助金額は、年額24万円の2年間。卒業後本市において3年以内に就農しない場合又は、中途退学、休学、卒業見込みのない場合は、一部又は全額返還しなければならない。

○E氏

現在あまがせ保育園は10人いないと聞いている。将来統合されるのか。

大山地区は3つを1つに統合する話が進められている。天瀬についてもそういう話になると思う。現在資料がないが、将来的に幼児数の減少や施設の問題等を考慮していかなければならない。

○F氏

河川環境向上対策事業に587万8千円がついているが、この前の災害で玖珠川に九重町の山林の材木が流れてきている。小さなゴミは自治会で拾うが、流木の処理はできないのでこの事業で対処できないか。また、市に流木の撤去を頼んだ場合できるか。

河川環境向上対策事業の目的は、将来にわたって良好な水環境を維持する事、市民が安心した生活を目的に河川水質検査を定期的に行う事であり、水質に関する部分の対策事業である。

倒木や流木の片づけは、河川管理者なので玖珠川は県、国と県の段階になろうかと思う。

どちらもそのままにしておいてくれと言うから、集落の砂場にも大分流れてきておりそのままにしておけば下に流れていくしかない。自治会で一か所に集めて市と県に頼んだがどちらもしてくれない。水郷日田と言う割には対策がない。地方創生事業の中で予算措置ができるように県に要望していただきたい。

要望と言う形で受け取り議会でも検討していく。

○G氏

地域おこし活動を天瀬のみでしており私たちの活動イベントパンフレットを市役所に置いて欲しいと頼んだが置けないと言われた。市民活動

を支援してくれるコーナーを作ってくれる日田市であって欲しい。

市民活動の支援活動のコーナーを作って欲しいという要望でよろしいですね。

本年度で5か年計画が終わるが来年度以降の取り組みについてお聞きしたい。

今年度が最終年度である第5次総合計画は、昨日審議会があり今後10年間の日田市の最上位計画の総合計画である。多様な意見を反映して町づくりの基本となる計画なのでこれからの話となります。

それには私たちの声は届くのか。

(参加者発言)

第6次総合計画は、委員20名で構成されており天瀬振興局からの推薦で私が参加しており、皆さんの意見を取り上げて話をしていきたい。

天瀬での会議はあるのか。私たちの意見は吸い上げられるのか。

審議会の委員は、それぞれの所属団体の意見を吸い上げて審議会に臨みますので、天瀬は天瀬で皆さんの意見を聞く会を設けて自治会などで意見を取るのが良いのではないかと。

今後6回審議会が開催され市長の諮問に対し答申を繰り返すその中で市民の意見を反映させるためのパブリックコメントの手法を用いる場合もあるのでその時に積極的な意見を出して頂きたい。

○H氏

桜滝は、環境の整備がされて立派にしているのに何故、慈恩の滝みたいに夜間照明がないのはどうしてか。観光客を呼ぶ構想はないか。

桜滝の環境整備は造った後の利用などで荒れた状態になっている。地元で管理に携わっていく方向で最初はあったと思うが、振興局としてはどう受け止めているかわからないが議会での取り上げは考えていない。

桜滝に時々行くが観光客が結構来ている。せっかく整備されているので有効に考えてはどうか。慈恩の滝みたいにライトアップしてはどうか。

桜滝入口の人が、夜間照明を付けたら夜に観光客がどんどん来るので夜寝られないと言われたので市は、夜間照明は付けない。

もっと有効に活かしてほしい。

地域住民で話し合っまとまって市に要望を出して頂きたい。

○I氏

天瀬温泉は、水道料金がおおかた倍なので水をあまり出せない。経営の負担が大きい。市で考えてくれないか。

水道料金の統一の件もありました。要望として受け止める。

○D氏

コミュニティバスのひた走り号の台数は何台か。また、1年間の総経費はいくらか。収支はどうなっているか。

台数は4台、当初予算の内訳は、事務消耗品費（時刻表・バス停修理等）163万2千円、月販売手数料6万4千円、バス委託料398万5千円、整備委託料108万1千円、収支については手持ち資料がないので、ここでは回答できない。

河川環境向上対策事業なんですけど、大山川、筑後川側は国交省の管轄だと思うが玖珠川は、県の管轄で土木事務所が管理していると思う。玖珠川の上流には玖珠町と九重町があるが、連携がないので玖珠川には国交省が力を入れてないのではないかと。

玖珠川の国交省管理は、小ヶ瀬から大山川沿いに上っていく方が管轄となっている。玖珠川は、県の管理である。

玖珠川は、水質が悪いし水辺の環境整備もかなり遅いので機会があればそうゆうところにも力を入れて国交省と関連するように議会からもお願いして頂きたい。

玖珠川についても県が水質検査等を行っていると思いますのでそこも踏まえて皆さん方にしっかり報告できるように我々も取り組みたい。

○K氏

日田市の選挙費は幾らか。また、4月の統一地方選挙後3ヶ月後に日田市長選挙があるのは何か歴史的経緯があるのか。

市議会議員選挙は、2400万円弱、市長選挙は、2600万円程度でありました。

市議会議員選挙と市長選挙の3ヶ月の違いは、統一地方選挙は昭和22年から実施されている。市長選挙は、昭和22年と26年は統一地方選挙でした。その当時の市長（広瀬知事の父）が辞職して衆議院選挙に出馬した。昭和27年10月に市長選挙が行われた。その後昭和54年6月に畑市長が議会終了後辞職して今の7月選挙となった次第である。

人口動態調査をやっているが、若いグループに援助や支援をすることは大事なことだと思う。今日ここに来てるのは、高齢者ばかりでありこの5年は非常に大切な時期だと思う。

これから人口が減っていく中で、ここで何か手を打っておかなければ、今後おそらく議員定数を減らせとか問題が変わってきますよ。宜しくお願いします。

まち・ひと・しごと創生総合戦略の中でも5カ年計画となっており、本年度含めて4年間の取り組みとなっている。人口減少をくい止めるのは、難しい状況である。それに対してどうブレーキや歯止めをかけていくことは一番の課題であり、地方創生の中でも次世代の流出に歯止めをかけるのは困難ではあるが、少しでもブレーキのかかる取り組みだと受け止めている。現在、政策研究会で若者が活躍する町作りを目指して若い力を地域づくりに活かせるような環境作りの基にできるようなことを課題で進めているところである。平成29年度末までには、若者条例を制定したいと考えている。若い人がいろんな場面で活躍できるようまた、ここに住みたいと思ってもらい日田市に住んで力を発揮してもらえようような取り組みを始めたところである。

○L氏

これは要望です。

地震後、水が濁り飲めなかったので、市に頼んだら1世帯に2～3個ペットボトルを頂いた。それでは足りないので給水車を要望したら1週間後タンクを用意して頂きそれに給水車が水をいれてくれた。水の給水については自治会が責任を持ってやるようにした。

これからどんな災害が起こるかわからないが、各校区毎にハウスとタンク2個（500L×2個）を置いておいてもらって何かあったら自治会が給水できるシステムにできないか。

また、ハウスやタンクの費用が掛かるが、市が全額出せないのであれば補助金を頂けないだろうか。設置することにより市も大分楽になるのではないだろうか。よろしくをお願いします。